

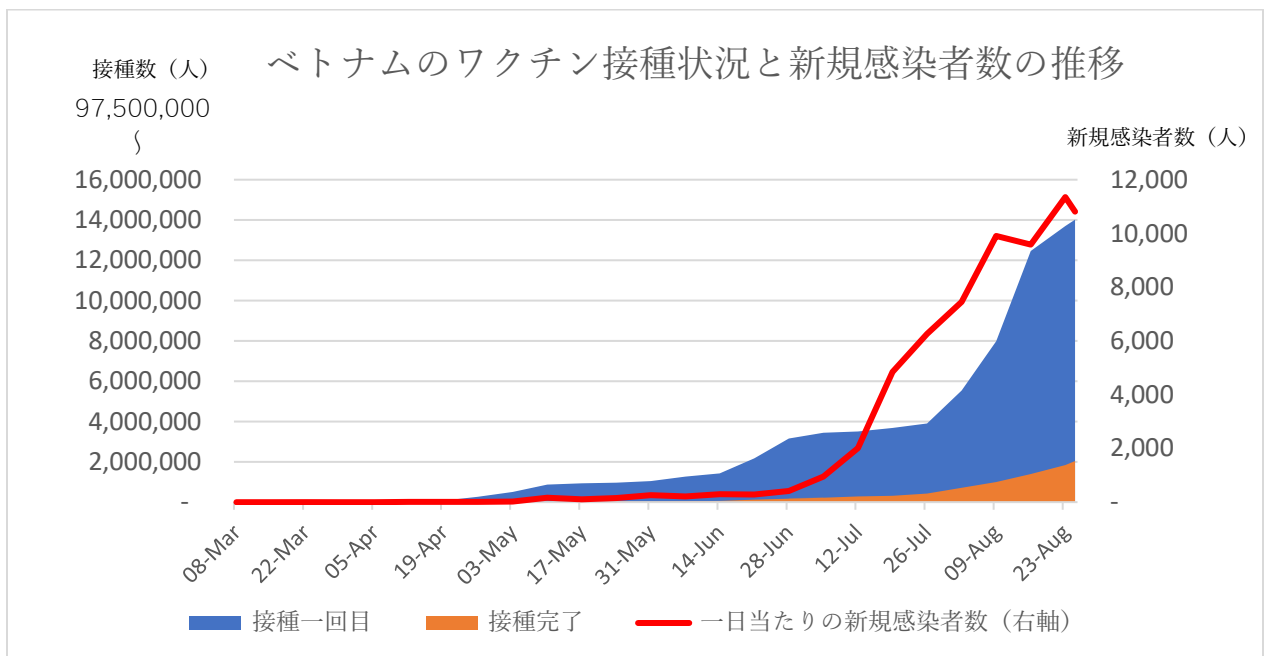
ベトナム現地情報（2021.08.26）

ジャパン証券 北山亨

第 14 回「ベトナムと新型コロナワクチン」

8月25日現在、ベトナムではモデルナ、アストラゼネカ、ファイザー/ビオンテック、ガマレヤ研究所¹、中国生物技術（CNBG）²、ヤンセン³製の全6種類のワクチンが承認されている。ワクチン接種の進捗として初回の接種を終えた人は約1,401万人、接種を完了させた人は約203万人となっている。しかしベトナムの総人口は約9,750万人で、接種が完了した人の割合は2.1%と依然として低い状態である。それでも感染拡大が続くホーチミン市ではワクチン接種による抑え込みが進められ、18歳以上の市民の約8割⁴が初回の接種を終えている（接種完了者は2.5%）。

新規感染者の急増とともにワクチン接種が加速している



（出所）保健省、WHO。ベトナムがワクチン接種を開始した3/8から8/25まで

¹ ワクチン名は、スプートニク V。ロシア製

² 中国シノファーム傘下の製薬会社

³ 米ジョンソン・エンド・ジョンソンの医薬品部門

⁴ 78.1%、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）予防国家技術センターの調べ

ベトナムではワクチン接種の遅れを取り戻そうと自国での開発や生産の動きが目立つ。民間ではコングロマリットのビンググループ（VIC）が、米国の Arcturus Therapeutics Biotechnology 社とワクチンの技術移転の契約を結んだ。今年6月に設立されたビンググループの子会社、ビンバイオケア社がワクチン生産を担う。年間2億回分を生産し、2022年初めの出荷を目指す計画だ。

進む国産ワクチンの開発

国内の製薬会社である Nanogen Pharmaceutical Biotechnology 社は、組み替えたんぱく質の技術を用いたワクチン「Nanocovax」を開発している。現在第3相臨床試験の最中だが、同社はすでにインド最大の製薬会社である Vekaria Pharmaceutical Group 社、そして韓国の HLB 社とワクチン技術の移転に関する契約を締結している。

また8月10日にはバイオテクノロジー研究所と Vinh Gia 製薬が、ベトナム産ハーブを使った新型コロナ治療薬「VIPDERVIR」の全臨床試験の結果を発表した。



国産初のワクチンとなるか、NANO COVAX（同社の公式ホームページより）

経済の結びつきとワクチン

ベトナムには世界中の製造業の工場が集まっており、世界経済との関係は年々深まっている。

例えば、ベトナムはアパレルの輸出額で世界2位⁵の大きさを誇る。米国の大手アパレルメーカー（ナイキ、コーチ、ギャップなど）はベトナム国内に大きなサプライチェーンを持っているが、コロナ第4波によってその受託工場の多くが生産停止に追い込まれた。そこでナイキな

⁵ 2020年、WTO（世界貿易機関）調べ

ど大手企業はバイデン米大統領にワクチンの追加援助を求めた。対してベトナムを訪問中のハリス米副大統領は8月25日、ワクチン100万回分の寄付を発表した。

経済的な結びつきの強い日本や米国などからのワクチン提供は、ベトナム国内のワクチン不足の解消に寄与している。またかつて同じ社会主義陣営だった東欧諸国からもワクチン提供がなされた。

経済回復のアクセルとなるか

工場の生産停止に止まらず、失業率、ベトナムの成長見通しにもコロナの影響が及んでいる。先月27日、国際通貨基金（IMF）は今年の経済見通し（改訂版）を公表した。報告ではワクチン接種が進む欧米の成長見通しが上向いたのに対し、ベトナムを含む新興国の落ち込みが目立った。ワクチン不足の状況は、経済活動にブレーキをかけざるを得ない状態を生み出している。ワクチン接種への国を挙げての取り組みは、再び成長を加速させるアクセルとなるだろう。

（参考）ベトナムの貿易相手国 上位 10 ヶ国（2020 年）

| 順位 | 輸出先 | 百万ドル | 輸入先 | 百万ドル |
|----|------|--------|---------|--------|
| 1 | 米国 | 77,077 | 中国 | 84,187 |
| 2 | 中国 | 48,905 | 韓国 | 46,895 |
| 3 | 日本 | 19,284 | 日本 | 20,341 |
| 4 | 韓国 | 19,107 | 台湾 | 16,701 |
| 5 | 香港 | 10,437 | 米国 | 13,713 |
| 6 | オランダ | 6,999 | タイ | 10,965 |
| 7 | ドイツ | 6,644 | マレーシア | 6,575 |
| 8 | インド | 5,235 | インドネシア | 5,382 |
| 9 | イギリス | 4,955 | オーストラリア | 4,677 |
| 10 | タイ | 4,917 | インド | 4,435 |

（出所）GSO 国家統計局

主なワクチン提供国：イギリス、オーストラリア、米国、チェコ、中国、日本、ポーランド、ルーマニア、ロシアなど（順不同）



ディスクレーマー

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはジャパン証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。